

# キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などを紹介するコーナーです。

## 隊員に聞きました! 「活動の振り返りと抱負」

現在、本市で11人の隊員が活動しています。約3年の任期でさまざまな地域資源を活用し、プロジェクトに挑む隊員に聞きました。

- 01 活動の振り返り
- 02 今後の目標、意気込みなど

地域おこし協力隊に関する問い合わせ  
市産業企画課(☎62-2111内線443)

「地域文化ディレクター」プロジェクト

**田中美季さん** 千葉県船橋市出身/27歳  
任期 R3.10～R6.8

- 01 今年度は2年目ということで、自分らしく活動することができました。メディアへの出演なども増え、遠野のことを広く発信することができたと思います。
- 02 来年度は自身がプロデューサーとして制作した写真集が出版されます。多くの人に遠野、岩手の魅力を見てもらい、共感してもらえたら幸いです。

「山地酪農」プロジェクト

**戸田苑美さん** 埼玉県日高市出身/25歳  
任期 R5.10～R8.9

- 01 附馬牛町大洞地区で牧場を始めるための伐木や草刈りが主な活動でした。地域の人との交流の機会もたくさんあり、さまざまな人からの優しさを感じた5カ月でした!
- 02 今後は牛も仲間入りし、一緒に開拓をしていく予定です。遠野での暮らしを楽しみながら、遠野とともに成長する山地酪農のあり方を模索します。

「地域の魅力発信」プロジェクト

**小田切大輝さん** 山梨県甲斐市出身/33歳  
任期 R2.11～R6.3

- 01 遠野高校の新しい『遠野物語』を創るプロジェクトでゼミを担当させてもらうなど、地域の人と一緒に何かを作り上げる活動に挑戦できました。
- 02 私が遠野で集めた怪談をまとめた本が、4月に発売されます。協力隊卒業後も遠野で怪談イベントを企画しますので、ぜひ遊びにきてください。

「まごころワイン」プロジェクト

**笠森哲広さん** 石川県白山市出身/41歳  
任期 R5.9～R8.8

- 01 NPO法人遠野まごころネットが運営するソーシャルファーム&ワイナリーという市内唯一のワイナリーで、主にブドウ栽培・ワイン醸造に携わっています。
- 02 温暖化により、今まで冷涼地とされてきた遠野市は、ワイン産地としてのポテンシャルを高めています。将来的に日本を代表するようなワインを目指していきます。

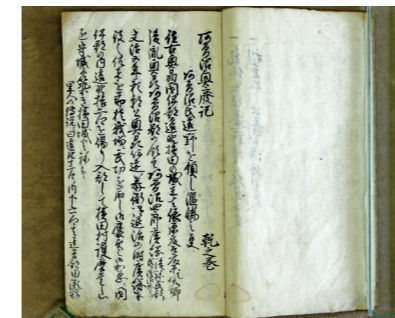
「山地酪農」プロジェクト

**鴫澤健太さん** 東京都出身/42歳  
任期 R5.10～R8.9

- 01 山地酪農を始めるため、主に雑木林の伐採や杭作りを行っています。また、山地酪農を知ってもらうために、地域の人や興味がある人に活動の説明をしてきました。
- 02 今後は牛を放牧する予定です。遠野の皆さんに足を運んでいただけるような楽しくてワクワクする牧場にしたいと考えています。遠野を盛り上げるぞー!!!

# 遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

本コーナーでは、あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。遠野遺産なども紹介します。



遠野の阿曾沼氏の興亡や事績について、江戸時代に書かれた『阿曾沼興廃記』

皆さんは、鎌倉時代から戦国時代まで遠野を支配していた阿曾沼氏について、どんなイメージをお持ちでしょうか。「実態がよくわからない」、「遠野から追放された武将」など、具体的なイメージをお持ちの人はそう多くないと思います。現在編さん中の『新編遠野市史 資料編 古代・中世』では、阿曾沼氏に関する史料を全国から集め、その実態に迫っています。

阿曾沼氏は、平安時代中期に平将門を追討した藤原秀郷の末裔です。秀郷の子孫は武家の名門として各地に広がり、そのうち下野国鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』には、將軍の近習(※2)や隋兵(※3)として阿曾沼氏の名前が登場します。建治元(1275)年に京都の六条八幡宮(現在の若宮八幡宮)造営のため負担金が課せられた際には、藤原足利氏のなかでは最高額を負担しており、有力な御家人であったことが市史編さん事業を通じて分かってきました。

## 史料から鎌倉御家人・阿曾沼氏に迫る



## 第157回 遠野遺産 The Tono Heritage

遠野遺産認定第163号「有形文化遺産」(令和3年10月29日認定)

### 宇迦神社

水と作物の神として信仰を集めていたと伝わる宇迦神社。「ウナン神」は宮城県から岩手県南地方に多く分布し、市内にもいくつかの宇迦神社があります。同神社の由来は明らかではありませんが、「宇迦虚空蔵神社」と刻まれた版木があるほか、裏に「胡四王」の墨書がある米俵や蛇、狐などを刻んだ「宇賀神」の版木が残されているなど、古い由緒がうかがわれます。

現在は、春と秋の年2回集落で清掃活動が行われるなど地域で大切に守られています。



MEMO  
[住] 綾織町下綾織37-167  
[交] 綾織地区センターから車で5分  
[問] 綾織地区センター(☎62-2838)